

2021.12.05. 苦い思いがあなたを滅ぼす前に、それを滅ぼす

ヘブル人への手紙 12 章 14 節～17 節

JD ファラグ牧師

さて、おはようございます。日曜日の朝の第二礼拝による。日曜日の朝は二つの礼拝があります。第一礼拝は、毎週行っている「聖書預言・アップデート」です。そして第二礼拝は、説教です。実際に、神の御言葉を一節ずつ学んでいきます。私たちは今、この素晴らしいヘブル人への手紙を学んでいます。今日のテキストは 12 章です。画面には 14 節からと表示されています。先週の 13 節からの続きです。御旨であれば、17 節まで進みます。可能な方は、ご起立ください。無理な方は、座ったままで結構です。私が 14 節から本文を読みますので、目で追ってください。ヘブル人への手紙の著者は、聖霊によってこう書いています。

ヘブル 12

14 すべての人との平和を追い求め、また、聖さを追い求めなさい。聖さがなければ、だれも主を見ることができません。

15 だれも神の恵みから落ちないように、また、苦い根が生え出て悩ませたり、これによって多くの人が汚されたりしないように、気をつけなさい。

16 また、だれも、一杯の食物と引き替えに自分の長子の権利を売ったエサウのように、淫らな者、俗悪な者にならないようにしなさい。

17 あなたがたが知っているとおり、彼は後になって祝福を受け継ぎたいと思ったのですが、退けられました。涙を流して求めても、彼には悔い改めの機会が残っていませんでした。

もしよろしければ、一緒に祈りましょう。私たちの理解に神の祝福がありますように。

愛する天の父よ、私たちは、聖霊がここにおられなければ、あなたが聖霊を通して、聖なる御言葉で、私たちの人生に語りかけようとしてくださることを、本当に理解する望みがないことを痛感しています。

今、私たちが歌ったように、主よ、私たちはあなたを必要としています。私たちはいつでもあなたを必要としています。主よ、今この時、私たちはあなたを必要としています。あなただけが、私たちの飢えと渇きと、必要を満たすことができるお方だからです。ですから、主よ、為してくれますか？聖霊の静かな、小さな、洗練された御声でお語りください。主よ、私たちはあなたに細心の注意を払いたいと思いますが、そのためにも聖霊が必要です。私たちが心乱れ、今日、前にするみことばの中で、私たちにお示しになることが何なのか、迷って見落とさないようにするためです。主よ、私はここにいる多くの人が、人生の厳しい、ストレス、プレッシャー、悩みや問題を抱えていることを知っています。この、あなたの教会で一緒に過ごす時間が、私たちにとって聖域であり、安らぎです。ですから、主よ、あなたの御言葉の中で共に過ごす時間に、あなたの祝福があるよう願います。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください、ありがとうございます。今日は、主が私たちに何を為してくださるのか、楽しみです。タイトルを見ていただければわかると思いますが、聖書全体の中で間違いなく、最も重要な真理の一つである、特に「苦い思い」や「恨み」に関連した話をします。聖書全体の中で間違いなく、最も重要な真理の一つである、特に「苦い思い」や「恨み」に関連した話をします。おもに、苦い根が成長して、最終的に私たちを破壊する前に、「苦い思い」を打ち壊すこと、言うならば、「苦い根」を根絶することの最重要性です。そして、間違いなく、それは私たちを破壊するでしょう。他にもあるかもしれませんが、私は

この箇所の中で3つを見つけました。「苦い思い」を打ち壊す3つの方法、根本的に取り除く方法です。興味深いことに、ヘブル人への手紙の著者は、ここでいくつかの勧告をしています。私は、彼が特にこのことから始めるのは、非常に興味深いことだと思います。言い換えれば、クリスチャンの人生に根付く、「苦い根」という問題は、聖霊によってヘブル人への手紙の著者が、正面から核心をつくレベルにまで達していたのです。これは危険なことであり、致命的なことなので、私たちはこのことに正面から対処しなければなりません。もし対処しなければ、それは時間の問題です。まず、14節の「平和と聖さを追い求めなさい」ということです。ここでは、著者は非常に明確に、熱心に勧めています。ところで、原文では非常に強い表現で、あらゆる努力をして、すべての人との平和と聖さを追求するように勧めています。そうすることで、苦い思いを未然に防ぐことができると。苦い思いの種が、心の中の恨みというしなやかな土壌と出会うのを許さないのです。始まる前にそれを止めるのです。クリスチャン生活の中で、苦い思いを助長しないような環境を作ることです。どうすればいいのですか？それは、平和を追求することです。当たり前のことのように聞こえるかもしれませんが、この著者が強調しているのは、もしあなたが、こちらを追求しているなら、あちらを追求することはできないということです。つまり、どちらか一方だけなのです。箴言にあるように、私はそれを言い換えています。あなたが追い求めるものは、あなたを追いかけることになる。それについて考えたことがありますか？ところで、それはどちらにも作用します。あなたが正義を追求すると、正義があなたを追いかけます。あなたが不義を追求すると、何が起これると思いますか？不義があなたを追いかけます。あなたが追求するものは、あなたを追求します。原文では、このような考えを持っています。心に留めておいていただきたいのですが、ヘブル人への手紙の著者は、レースを走るランナーを描写しています。そして、足手まといになるようなものは捨てるよう、彼らに書き送ったところでした。妨げとなるもの、つまり、あなたに絡みつく罪は、レースの勝利だけではなく、走ること自体をも妨害します。捨て去り、取り除きなさい。あなたはゴールまで走り抜きなさい。よく言われているように、勝つためには参加しなきゃいけないのです。あなたは、これを追求する必要があります。努力して追求する必要のあるものです。ゴールに向かって努力する方法を知っていますか？これを確実なゴールとして定めることです。これを追い求める。何を追い求めるのか？すべての人との平和と、聖さです。この言葉に関しては、多くの誤解があると思いますので、聖さについて少しお話ししましょう。確かに、「あなたがたは聖なる者でなければならない。わたしが聖だからである。」というような聖句は助けにならず、「うわあ…」という感じです。「聖なるもの」というのは、悪い評判が多いですね。「あなたは、とても純粋で聖い存在なのね。」(嫌味な言い方)「待って、そうあるべきだと思っていました。それは悪いことなのですか？」聖なるものであるとは、どういうことですか？それは、主のために切り離されるということです。私はこのように考え、言います。聖くあること(holy)は、完全(whole)であることです。半分ではなく。聖霊に満ち溢れていることです。これもまた、深淵な意味があることはわかっています。聖さ、聖霊。深いですね。聖い人生は、クリスチャン人生の中の聖霊と相対することです。あわれなクリスチャンは、自分の肉のエネルギーで聖い人生を送ろうとする人です。それは成功しません。まあ、やってみることはできます。毎年この時期になると、そうしませんか？新年の決意を固めます。(笑)その結果はどうですか？私は、数年前にやめました。冗談でしょ。「新年の抱負！」一日目は達成したと思いますが、二日目にはしくじりました。なんか、こんな感じで・・・まあ、これくらいにしましょう。私たちは、聖霊によってしか得られないもののために、肉の力で努力しています。聖霊が私たちに宿り、満たすとき、私たちに力を与え、聖い人生を送るように力を与えてくださいます。それが唯一

の方法なのです。そしてまた、私たちの中にある聖霊が、聖さとすべての人との平和を追求するよう私たちを駆り立てるのです。「すべての人とですか？」一ええ。「いや、彼らは違う。」一彼らもです。彼らもすべての人に含まれます。そうですね、私もそれを言った時に誰かを思い浮かべました。「私は、彼らと和解しませんよ。」私たちはそのことについて話しましょう。なぜなら、その時、苦い思いという小さな小さな種が発芽して、芽を出し始めるからです。そして、ヘブル人への手紙の著者の言葉を借りれば、あなたが汚されるまでに時間はかからない。翻訳すると、「破壊される」。苦い根を成長させ、その苦い実を心の中で熟させれば、あなたは食い尽くされてしまいます。ここで、15節の2つ目です。これは説明しないといけません。それは、「神の恵みと歩調を合わせること」です。これは多くの人が誤解している節です。というのも、最初に読んだときには、「待てよ、私は神の恵みを受けられないということか？」「ということは、救いを失うこともあるの？」いいえ、そういう意味ではありません。では、ヘブル人への手紙の著者はここで何を言っているのでしょうか？ここで彼が言っているのは、「挫折することもある」ということです。スピードを失って、神の恵みに追いつけなくなることです。そして、そのような状態では、もはや前に進み続けることはできません。前に進めません。あなたはそれにしがみついています。あなたは、この恨みを抱いたままです。私たちは愛を込めて、「主を待ち望みます」と言います。それは良いことであり、聖書的なことであり、理解できることでもあります。でも、こんなふうに考えたことはありませんか？主が、あなたを待っておられる時があるということ。「さあ J.D.、何をやっているんだい？あなたは追いつく必要がある、前に進むのです。」あるいは、私の妻がいつも言っているように、橋を架けて乗り越える（心配せず前に進む）のです。妻にしかできないことですよね。そうでしょう？さて、このレースの例えに戻ります。つまり、私たちはゴールを目指していて、賞に、エンドゾーンに目を向けています。私たちはこのゴールを追求しています。私たちは、勝利を得るために参加しています。私たちは、自分を妨げるもの、遅らせるもの、自分を重くするもの、自分を抑えるものをすべて取り除きます。しかし今、苦い思いという小さなものが突然現れ、それが私の足を引っ張っているのです。そしてここで、神の恵みのペースが前に進んでいます。なぜなら、私の中でその働きを始められたお方は、それを完成させるために忠実なお方だからです。私たちは、シャツや帽子、バンパーステッカーなどを用意しますね。私はまだ働きの途中です。「あなたはひとよりも、もっと働きが必要なのね…」と笑っている人がいますが、自分のことはわかっているはずですよ。これには私は手を挙げますよ。しかし、もし私がこの恨みを持ち始めるなら、実際は、それが私を捕らえるのです。私がそれを抱えていると、それが私を抱えることになります。私の目は、もはや主に向いていません。先週みたように、賞に目を向け、それから目を離さないように。繰り返しますが、木曜日の夜に学んでいるイザヤ書には飽きることはありません。

「志の堅固な者を（思いが主に定まっている者を）、あなたは全き平安のうちに守られます。」(イザヤ 26:3 参照)

私たちは他人の目を気にしますよね。私たちが苦い思いで、怒って、悩んでしまうのも無理はありません。申し訳ありませんが、この聞き飽きた言葉を繰り返さなければなりません。なぜなら、それは本当に真実だからです。もしあなたの目が自分に向いていたら、あなたは落ち込みます。あなたの目が他人に向いていれば、あなたは悩みます。しかし、あなたの目がイエスに向いていれば、あなたは祝福されます。まったく、その通りですね。さて、ここからが本題です。私は追いつきたい、ペースを守りたい、歩調を合わせたい。しかし、もし私がこちらを見て、あちらの恨みにしがみついているとしたら...私が重荷を背

負うだけでなく、停滞してしまうのも時間の問題でしょう。私は恨みによって、主から目を離すことを許してしまったのですから。そして今、私は神の恵みに追いつけなくなっています。今日の残りの時間を費やしたいのは、この最後の1つです。私にとって....何と言っていいのかわかりません。私たちがクリスチャン生活の中で、苦い根を成長させてしまう一番の理由はこれです。それは「不当だと感じること」です。「不当だと感じることを手放す」これは、16節と17節にあります。ここでも、著者がエサウを持ち出したことは非常に興味深いことです。彼を覚えていますか？ヤコブとの二卵性の双子の兄弟で、ヤコブに強い恨みを持っていました。彼は、ヤコブが不当であると思い、彼を軽蔑していました。あの家庭で育った二人の少年のライバル関係を想像できますか？なんてことでしょう。憎しみ、争い、苦々しさ、恨み、怒り、戦い。私はここで重要な区別をしたいと思います。なぜなら、それはこの一つの真実を理解する上で重要になるからです。長子の権と祝福の間には区別があります。エサウは、長子の権を見下しました。しかし、彼は祝福を求めました。エサウは、長子の権なしに祝福を求めました。彼は、弟のヤコブが（ちなみに彼は弟です）不当だと感じていました。それは、正しいことではありません。しかし、創世記25章23節には、若い者が...、つまり、年長者が若い者に仕えるという預言があります。それは、特にその時代のその文化においては、呪いです。長男は、いわば跡取りです。彼は、長子の権とそれに伴う祝福を受ける権利を持つ人です。しかし、エサウは違います。彼はそれを軽視し、一杯の食物のために権利を売りました。私はヤコブが非常に抜け目のないビジネスマンであったと思っています。この人と交渉する側にはなりたくないですね。とても抜け目がないですね。「腹が空いているようですね、兄貴。」「そうだ。」「兄貴は長男ですよ。」「そうだよ。」「取引をしましょう。いい取引ですよ。」

そして、その恨みと憤りで、エサウは弟を軽蔑したのです。彼は弟を憎んでいました。実際、読み進めていくと、神の恵みによって守られましたが、弟を殺そうとしていた、という記述があります。神はそれを許されなかったのです。興味深い例ですね。聖書の理解に関しては、聖書の中で与えられている例えに焦点を当てるのが良いと思います。だからこそ、そこにあるのです。これは、ダビデの、ポスター・チャイルドのようなものですよね。ダビデ王については、これからお話しします。つまり、イスラエルの甘美な詩篇の作者です。ワオ〜。神の御心に適った人です。しかし、サムエル記の第一と第二を通した学びに参加された方々にとっては、ちょっとした余分な情報でした。私はダビデの、こんなことを知りたくありませんでした。姦淫をして妊娠させたとき、それを隠そうとする男のことは、知りたくありませんでした。そして、彼女の夫を殺させるのですよ。つまり、彼の人生をむちゃくちゃにするものですね。これは、神の御心に適う男の話です。この人から、救い主が生まれることになるダビデ王なのです。私が神ならば、「あなたは、クビだ」と言ったでしょう。「私は救い主をダビデの家系からではなく、別の家系から連れてくる。この姦淫者、この人殺し。」それが彼の正体です。彼が、どのようにして計画を進めたかを、生々しく説明していますよね。彼は実際に、バテ・シェバの夫であるヒッタイト人のウリヤに対する指示を、軍の司令官にメモで送ったのですが、それは基本的に彼の死刑宣告でした。彼は、姦淫を隠そうとしたからです。ダビデ王からヨアブへのメッセージの内容は、だれも想像できなかつたでしょう。ウリアを前線に出して、彼が殺されるようにして、お前達は撤退しろ。そして、それは成功しました。それがダビデの考えでした。そう思っていたようです。そして、預言者ナタン（聖霊の型です）がダビデのところに来て、裁くべき事件を明らかにしたことは、もちろん記録に残っています。繰り返しますが、余計な情報ですよ。かつての英雄、ダビデ王は、怒ってしまうのです。

「どうして、どうして、彼が、彼は男が持っていた1匹の羊を奪い、それは、その男が持っていた羊のす

べてだったのに。彼を連れてきて、死刑にしろ。」そしてナタンは言います、

「ダビデ王よ、あなたがその人だ」と。そして、ダビデは地面に崩れ落ちて悔い改めるのです。預言者ナタンが彼に語りかけ、神が罪を取り去ってくださった、と言います。理解しなければなりません。当時、姦通と殺人は死刑となる犯罪でした。彼は本来ならば死刑になってもおかしくないのです。さて、なぜ私はそのようなことにまで踏み込むのでしょうか？ それは、私たちがこれから

目にするもののためです。もしあなたが私に、聖書全体の中でどれが最も冷酷な苦い思いの例だと思いかと尋ねるなら、それは、アヒトフェルという名の男のことでしょう。第二サムエル記の15章と16章にその記録があります。そこでは、アヒトフェルはダビデ王が最も信頼していた助言者であったと語られています。そのため、彼が話すときは、あたかも神の神託を受けているかのように思えたのです。神が直接語っているかのような、という意味です。彼は、ダビデが最も信頼する助言者でした。ダビデとアヒトフェルは一緒に育ったと指摘する解説者もいます。二人が幼馴染であれば、それなら納得できます。

非常に親しい、彼の最も身近で最も信頼できる助言者であり、友人です。実際、詩篇の中でアヒトフェルのことを言及していますが、そこにはダビデの心を垣間見ることができ、アヒトフェルのことで、どれほど深く傷ついたかがわかります。アヒトフェル？ そうです。何があったんですか？ さて、今からその話をします。アヒトフェルは、ダビデの最も信頼できる助言者だったのですが、ダビデの最も危険な敵になりました。どうしてですか？ 息子のアブサロムと手を組むことになったのです。彼は、さまざまな理由から父ダビデをとて恨んでいました。彼は、父ダビデを非常に恨んでおり、イスラエルの王の座から自分の父を追い出すだけでなく、殺そうとするほどでした。これを聞いたアヒトフェルはアブサロムと手を組んでダビデを殺そうとします。アヒトフェルがダビデの最も信頼できる助言者だったのが、最も危険な敵になってしまったのは、何が原因でしょうか？ 一言で言えば、“苦い思い”です。皆さんが知っているかどうかわかりませんが、バテ・シェバは、アヒトフェルの孫娘でした。約十年が経過したと考えられています。そして、ダビデは戦いに出るべきだったのです。ところで、これは男性へのメッセージでもあります。しかし、ダビデは戦場へは行かず宮殿から、この美しい女性が水浴びをしているのを見ましました。つまり、神がすべてにストップをかけていたということです。ダメ、ダメ、ダメ。彼の助言者さえも。ダビデ.....やめとけ、やめとけ、やめとけ。そして、ダビデは全てを無視して、彼女のために人をおくり、彼女がやって来きます。彼は結局、王なのですから。二人は性的関係を持ちます。彼女はそれで子どもを身ごもり、そして、ダビデは彼女を家に帰します。彼女が、ダビデにメッセージを送ったときのことを想像できますか？ 「ダビデ.....あなたの子どものを妊娠したの。夫はあなたとイスラエルのために戦場に行っているから、あなたの子どものなの。」彼はイスラエル人でもなく、ヒッタイト人です。さて、アヒトフェルとの関係ですが、バテ・シェバは、彼の息子の娘です。祖父母の方には、このことをよく理解していただきたいと思います。あなたの息子の娘、あなたの孫娘です。孫ができる前に主が戻って来られるかもしれませんが、もし戻って来られなくて孫ができたとしても、子どもよりもずっと可愛いらしいですよ。ああ、そうです、私は証人を得ましたね。皆さんの話を聞いたことがあります。「私は孫が大好きです。だって、一日の終わりには孫を返せるからです。」箴言には、孫は最高の宝石である、というようなことが書かれていると思います。これは、アヒトフェルの孫娘です。そしてダビデは、親友であり、幼馴染であり、王です。あなたの親友が、孫娘と姦淫をした？ 彼は十年ほど、苦々しさを心に秘めていたのだと思います。アブサロムが、さまざまな理由で父親に恨みを抱いた頃に、完全に熟していたということです。彼がアブサロムのことを耳にするやいなや、彼は反逆に加担します。「アブサロムが何を

しているか聞いたか？」「ああ、聞いたよ。」「彼の電話番号を知っているか？」「ああ、ここにある。」

「彼に電話してみる。」実はアブサロムが彼に電話をかけてきたのです。彼はその電話を待っていました。彼はただ、恨みと憤りのために復讐を果たし、ダビデに仕返しができるその時を待っていたのです。さて、そんな彼の結末をご存知ですか？ アヒトフェルの結末は、苦い思いに屈したすべての人の結末と同じです。彼は、アブサロムが自分の忠告を聞かなかったため、自ら命を絶つことになります。とても興味深い内容です。ぜひ、第二サムエル記の聖句に時間をかけてみてください。フシャイという名前の男がいますね。ダビデと彼に忠誠を誓う者たちが、アブサロムが来ることを知って、エルサレムから逃げているときです。つまり、強烈なのです。彼らはエルサレムを離れようとしていて...ダビデの名誉のために言っておきますが、もしエルサレムに留まっていたら、アブサロムが来ると血の海になることを知っていたのです。そこでダビデは、「ここから出よう」と言ったのです。そして、ダビデに忠誠を誓った者はダビデと共に去り、そうでない者はアブサロムの元に留まったのです。彼らが去っていくとき、泣きながら激しく痙攣していました。他に良い言葉がないので、この言葉を使っていいかどうか...なぜなら、アブサロムが来て、王位を奪ってしまうからです。そして、ここが本題です。このフシャイは、「私はダビデと共にいる。」と言います。すると、ダビデはこう言います。「いや、あなたは戻ってほしい。なぜなら、あなたは反論しなければならないから。ところで、あなた（フシャイ）と私で祈る必要がある。なぜなら、もしアヒトフェルが息子アブサロムに助言し、息子アブサロムがアヒトフェルに耳を傾けたら、ゲームオーバーになるから。終わりだ。だからこそ、あなたには行ってもらいたい、あなたの反論は、私にとっても内部情報のようなものです。あなたが必要なのです。あなたがアブサロムに忠誠を誓うことは、私と一緒にいるよりも価値があるのです。」だから、フシャイはそうします。さて、いよいよアブサロムが登場します。ダビデは逃げました。自分が王であると宣言し、妄想します。そして、今度は助言者を登場させます。「ダビデを殺すためにはどうすればいいか？」アヒトフェルが先に助言をします。そして、もしアブサロムがアヒトフェルの言うことを聞いていたら、うまくいっていたかもしれません。それでアブサロムは、こう言います。「よし、ありがとう、アヒトフェル。フシャイ、お前はどうか？どのようにすればよいか？」そして、聖霊がフシャイの上に臨み、フシャイは彼に反対の助言をし、主の計画に従って事実上、ダビデの命を救ったのです。それは完全に神の恵みでした。そして、アブサロムがアヒトフェルの助言を受けずにフシャイの助言を受けたとき、私たちが話しているのは、この賢い男のことです。

彼は、こう思います。「ああ、私の助言を聞かなかったんだな。これで私は終わりだ。」そして彼は家に帰り、自ら命を絶ってしまいます。なぜ私がこれを強調するのでしょうか？なぜなら、それが結末だからです。苦い思いが自分を破壊する前に、苦い思いを破壊してください。苦い思いがアヒトフェルを滅ぼしました。これは神の人だったに違いありません。この人は、あなたの教会の牧師として欲しい人です。この人は、長老としてあなたの役員になってほしい人です。神に仕える人だったに違いありません。

「苦い思いが、そのような人を滅ぼしたとでも言うのですか？」はい。それほどまでに危険だということです。だからこそ、ヘブル人への手紙の著者は、この勧告のリストから始めるのです。そして、彼のリストの1番は、苦い思いに対処した方が良いというものです。他のことは考えないでください。苦い思いを対処する。苦い根を根付かせてはいけません。それはあなたを殺すでしょう。それはあなたの人生を破壊するでしょう。それは内側からやってきます。あなたを蝕んでいきます。10年間、そのことが彼を苦しめていたことを想像できますか？ダビデの名前を口にただけでも、激しい怒りと激情が湧き上がってくるのです。もしよろしければ、個人的にお伝えしたいことがあるのですが、よろしいでしょうか？

この数年、恨みや苦い思いについて、神がどのように私の心に働きかけてくださったか。ただ、率直に言いたいことがあります。時には人を不快にさせることもあるでしょうが、ただ主の前で、そしてあなたの前に率直に。教会として、私が牧会する特権を与えられている教会として。私が率直にお伝えしたいのは、この数年間で、一日に何千回も、敵がお膳立てした苦い思いを手渡してきたということです。受け取らないでください。受け取ってはいけません。恨む理由は千差万別です。ちなみに、結婚関係でも。しかし、私個人としては、その苦い根が私の人生を破壊する前に、根絶することができました。主は、この深遠でありながら非常にシンプルな真理を私に伝えてくださいました。それは、私が何をされたかではなく、何が私のために成されたのかということなのです。私がどこに向かっているか分かりますか？ もちろん、私が言っているのは、イエスが私のためにしてくださったことです。もし私が彼らを見て、彼らや彼らが私にしたことのために恨みを抱いているとしたら、私はイエスが私にしてくださったことに目を向けていません。なぜなら、彼らが私にしたことで頭がいっぱいだからです。「彼らが私に何をしたか知っていますか？」彼らがあなたに何をしたかは知りませんが、イエスがあなたのために死んでくださったことは知っています。それは、大きな変化をもたらすものではないでしょうか？ ほら、あなたが...、どうかよくお聞き下さい。そして、敵はこれを聞かせたくないのです。敵は、あなたがその恨みを持ち続け、その苦い根に水をやり続けて、あなたの人生で成長することを望んでいるからです。なぜなら、敵は、あなたを破壊したいと思っているからです。ところで、敵の唯一の目的は、盗み、殺し、滅ぼすことです。敵はあなたを滅ぼしたいのです。さて、敵がクリスチャンの人生を破壊する最も強力な方法の一つは、苦い思いによるものです。そして、イエスと、イエスがあなたのためにしてくださったことから目を離させるために、あらゆることをするでしょう。そして敵は、その動画を何度も何度も再生し続けるのです。敵はあなたのためにソーシャルメディアにも投稿してくれます。そして、あなたはそれを心の中で再生し続けます。「あんなことをするなんて信じられない。」そして、敵はすぐそこにいます。「私も、彼らがあなたにあんなことをしたなんて信じられない。」主がここにいる、「わたしのことはどうなんだ？」と言っておられるようなものです。「ええ、彼らはあなたにあんなことをしたが、わたしはどうなんだ？ わたしはあなたのために死にました。ところで、わたしがなぜあなたのために死んだか分かりますか？ なぜなら、あなたも、あなたが恨んでいる彼らと同じように罪びとであるからです。」

オズワルド・チェンバースだったと思いますが、このような言葉を聞いたことがあります。この言葉は長年にわたって私の心に残っています。

”あなたが不当な扱いを受けたかどうかではなく、あなたが不当な扱いをしたかどうかです”

先週、妻と話をしていた思い出です。マーク・トウェインがこう言っていました。

”一日の終わりに、あなたの子どもを叱ってください。彼らはきっと何かをしたのだから。” (笑)

でしょ？ 私の言いたいことがわかりますか？ 私がどこへ向かっているのか、お分かりでしょう。

では、よろしければ少しだけ夫婦関係についてお話ししましょう。私たちはただ、恨みを抱き、それがダンマリ作戦となって現れるのです。皆さんには、私が話すことは何も関係ないでしょう？ 時には何日も続くこともあります。ああ、ただ苦い根を育てているだけです。「彼らが間違っている！」「私は謝罪するつもりはない！」「私は何も悪いことはしてない！」いや、しましたよ。あなたが不当な扱いを受けたかどうかではなく、あなたが不当な扱いをしたかどうかです。ネタバレになりますが、あなたは不当な扱いをしたのです。だからこそ、あなたは十字架のもとに行かなければならないのです。なぜなら、それを視野に入れるからです。私の場合、長年にわたって誰かを恨んだり憤慨したりする傾向があることを知っ

ています。いや、皆さんは違いますよ。皆さんは誰一人として、素晴らしいです。もちろん、本土の他の人たちのことですよ。(笑) 主はいつも忠実に、私に私を見せてくださいます。そういえば、イエスが弟子たちに教えられた祈り方もそうでしたよね？

「私たちに負い目のある人たちを私たちが赦すように、私たちの負い目をお赦してください。」(マタイ 6:9 参照)

そこにつながりがあることがわかりますか？ 主がこう仰っているのです。「あなたは赦さないのですか？」ところで、聞いてください、これは本当に重要なことです。もっと早く言うべきだったかもしれませんが。赦したからといって、その人を信頼しているわけではありません。つまり、「私が彼らを赦し、もう恨んでいないからといって、彼らがしたことが大丈夫だと思われては困る」という旗印のもと、赦しを保留している場合です。それは敵の嘘だと思います。あなたは、赦せないという鍵を手に持っています。また、相手が自分にしたことに対して赦しを保留するならば、私たちは主に対して何をしてしまっているのでしょうか？ つながりがわかりますか？ 出エジプト記 15 章にお付き合いください。締めくくりを持ってきますが、これはとても適切なんですよ、この内容は。22 節から読み始めたいと思います。これはもちろん、イスラエルの民がエジプトから脱出したときのことです。そして、そこには荒野が広がっています。そしてもちろん、神は彼らのあらゆる必要を奇跡的に満たしておられます。彼らの考える時期や方法ではありませんが、彼らが必要とするものすべてを神が与えてくださったのです。岩から水を汲まなければならないときは、岩から水を汲みました。出エジプト記 15 章 22 節です。

出エジプト記 15

22 モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた。彼らはシュルの荒野へ出て行き、三日間、荒野を歩た。しかし、彼らには水が見つからなかった。

23 彼らはマラに来たが、マラの水は苦くて飲めなかった。それで、そこはマラという名で呼ばれた。

24 民はモーセに向かって「われわれは何を飲んだらよいのか」と不平を言った。

25 モーセが主に叫ぶと、主は彼に一本の木を示された。彼がそれを水の中に投げ込むと、水は甘くなった。主はそこで彼に掟と定めを授け、そこで彼を試み、

気づきましたか？ その木とは、十字架です。その状況で十字架にたどり着いた方が良いのです。そして、その状況の中で、十字架のもとに行っただけの方が良いのです。なぜなら、イエスが十字架上でなさったこと、十字架上の完成された御業だけが、その苦味を甘味に変えることができるからです。どうやって？ なぜなら、十字架は何を表しているのですか？ それは、私の悪事のすべて、神に対する罪のすべてを表しています。

「ええ、でも、彼らはこんなことを私にしたんです！」あなたが神に対してしたことを見てください。神はあなたを赦しておられるのに、あなたは彼らに赦しを保留するのですか？そして、木/十字架を取り...、興味深いと思いませんか？私と一緒に考えてみてください。興味深いですよ、神は簡単にこれをお出来になったんですから。

「ああ、ごめんね、わからないけど、GPS が混乱して...あなたたちをマラに連れてくるつもりはなかったんだよ。本当はここにある別の水源に連れて来ようと思っていたんだけど、これがまた素晴らしい新鮮な水なんだよ。ごめんね、私が悪かった。」

そして、マラに着いた後も「よし、モーセ、彼らを別の場所に連れて行ってくれ」とは言われませんでした。「わたしは、これは苦い水だということを知ってほしいのです。なぜなら、わたしは自分ができるこ

とだけをし、あなたの人生の苦い状況を変えようと思っているからです。あなたが持っているその苦い思い、その恨み、その悪意を、わたしはそれを甘くするのです。今、わたしを見ていなさい。」しかし、十字架がなければできません。なぜ、十字架がないとできないのでしょうか？ なぜなら、主はその十字架の上であなたの罪を背負い、その罪を完全に償ってくださったからです。そして、あなたは赦されています。こんなことを考えたことがありますか？ これでギアが詰まったり、ハードドライブが壊れたりしなければいいのですが。どんな比喻でも構いませんが。しかし、神が私たちに苦い思いを持っておられないことについて考えたことはありますか？ これを言えば、誰かが思い浮かぶかもしれません。人が神に恨みを抱くのはどうでしょうか？ なぜなら、不当だと感じるからです。そして、神を非難し、神に恨みを抱くのです。ちょっと待ってください、あなたは逆になっていますよ。もし誰かを恨む権利があるとすれば、それは神です。私たちが神に対して行ってきたことのゆえに。そしてこれからも、ラッパが鳴るまで続くでしょう。そして私たちは、パウロが言及したように、救い出されるのです。私は、使徒パウロがローマの教会に言及したことが大好きです。「この惨めな死の肉体」毎朝、私は鏡を見ては「うわぁ」と思っています。パウロが、外見的には日々衰えていくと言っていますね。今では毎日のように、もっと衰えているような気がします。

しかし、私たちは内なる人は、日々、霊的に新しくされています。(II コリント 4:16 参照)

そして、私たちは腐っています。私たちは腐っていますよね？ お立ちください。賛美チームに登場してもらいます。最後に、どうにか、最善を尽くしましたが、聖霊が残りをしてくださることを願っています。特に今日ここにいる人の中で、教会に恨みを持ってきた人は、来る日を間違えたのではないかと思います。(笑) またはオンラインで見ている方。あなたは偶然にこのビデオを見ているわけではありません。私は自分自身に語りかけます。私はそのことを思い出す必要があります。私が赦されていることを思い出させるために、私の苦々しいマラの状況に十字架を置く必要があるのです。何も保留されておらず、口座に何も請求されていません。完全に支払われています。私は自由で潔白であり、御子が自由にする者は本当に自由なのです。最後の一言、最後の一言はまだ言っていませんでしたよね？ 最後にひとつだけ。マタイ 5 章のイエスは、考えられないことを仰っていますよね。イエスはこう仰っています。

「あなたの敵のために祈りなさい。あなたを悪者にし、悪口を言う人たちのために祈りなさい。」
彼らのために祈るのですか？ はい、彼らのために祈りますよ。(笑)「神よ、彼らを殺してください、彼らを殺してください、神よ。」そんなことを主は仰っていません。主が仰りたいのは、つまり、あなたが彼らのために祈るようになれば、彼らに対する苦い心が変わるということです。なぜなら、祈っている人にどれだけ怒っていられますか？ 「真似しないでください」と言われていますよね。いや、真似してみてください。最初はちょっと、ほら、ちょっと荒れていて生々しいです。なかなか出てきません。「主よ...主よ...主よ、彼らを祝福してください、祝福して終わらせてください」という感じです。

そしてその通りになった時、あなたは「おおっ」となります。そして、相手に対する心の持ち方が変わります。なぜなら、今、あなたは彼らの人生に投資し、神が彼らの人生を祝福しておられるからです。怒ったままではいられません。つまり、ショッキングなことですよね？ そう、イエスは私たちのことを知っておられるのです。あなたが敵のために祈れば、もはや敵ではなくなるということを。彼らのために祈りましょう。彼らのために祈ってください。あなたは、あなたが祈っている相手に対して、いつまでも怒ったり、恨んだりすることはできません。私は何人か知っていますが...これを言うときに誰かを見るつもりはありません、自分が誰であるかを知っているでしょう。私たちの中には、他の人よりも少し太めで、

頑固で、強情で、うなじの固い人がいますよね。「俺たちはそれに執着するんだ、それをずっと持ち続けるんだ。」いや、手放してください。その”不当だと感じるもの”を、手放してください。彼らのために祈りましょう。神に対する自分の罪を思い出すために、できるだけ早く十字架のもとに行きましょう。祈りましょう。

天の父よ。私は自分の最善を尽くしました。ここからは聖霊に委ね、ここで私たちが見てきたことを受け止めてください。

主よ、苦い根に関する私たちの心の中の働きは、困難で退屈かもしれませんが、そのプロセスを始めてください。主よ、私はここにいる人やオンラインで見ている人の中で、この恨みを持ち続け、この苦い思いが大きくなるのを許している人のために祈ります。主よ、私はただ、あなたにしかお出来になれない方法で、彼らに語ってくださるよう祈ります。あなたがどれだけ彼らを赦しておられるかを、明らかにし、思い出させてください。主よ、あなたの御言葉に感謝します。これは、あなたの御言葉の中でも、厳しい内容ではありますが、とても必要な箇所の一つです。主よ、あなたに感謝します。イエスの御名において、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7